

## 雲南地域の農業振興の可能性について

勝 部 祐 治

### 1. はじめに

中山間地域の活性化を考えた場合、その地域にある資源を活用していくことがまず求められる。そして、地域の産業振興を図り、雇用を確保して人々が生活を持続していけるようにしていくことが必要である。中山間地域の産業資源を見渡すと、やはり農業ではないかと考える。中山間地域の農業は国土保全機能や水源涵養機能など公的機能が注目されているが、やはり産業としての農業を自立させない限り、中山間地域の持続的な維持・発展は難しいと思う。

新農業農村基本法が施行され、株式会社が農地を所有できるようになった。(平成 12 年臨時国会で成立)そして、認定農業者や集落営農組織、農業生産法人など農業のプロとしての農業者が増えてきており、企業的な経営を進めている事例もある。農業を産業として自立させていくためには、このような企業的な経営を広げていく必要があり、他業種企業の農業への参入も模索していくべきだと思う。

本文では、雲南地域をモデルとして農業外資本の参入を想定した農業振興の可能性について述べ、中山間地域の地域振興に寄与することを示したい。

### 2. 農業をとりまく環境

国内の農業はWTO体制のもとで農産物の輸入が自由化され、関税率の引き下げが進んできているため、野菜・果実・畜産物の輸入量が増大し、国内生産が減少している。米についても食管法から食糧法へ転換され、集荷・販売を自由化することで、市場原理に基づく価格設定が行われるようになった。現在、米は国内で自給しているものの、全体の食糧自給率は28%であり、世界でも有数の食糧輸入国となっている。

農産物の市場原理による価格設定は、外国産の農産物との競争に対抗するために安く抑えられ、農業従事者の生産意欲を低下させ、離農や耕作放棄地の増加をもたらし、中山間地域の活力低下を招いている。

しかし、21世紀には中国、インドの人口増加と地球温暖化による気候変動により、安定的に食糧を輸入できるかどうかは保障されず、食糧の安全保障も大きな問題として位置付けられている。また、これまでの画一的な農業生産(化学肥料と農薬を用いる農業)から、有機農業や自然生態系農業などこだわりの農業を進め、農協を通じた集荷・販売体制にとらわれない農業活動も広がりを見せ、青空市や産直販売のように生産者と消費者が交流する農業も進展しつつある。

### 3. 島根県の農業の概況

島根県における農業の基本は米であったと言える。鳥取県の「なし」や「すいか」に匹

敵する特産物は「ぶどう」しかなく、生産量は大きくない。特産品は「米」であったと解釈できる。前項に示した食糧法の制定による米の流通の自由化により、これまで食糧法で守られていた価格体系が崩れ、農業粗生産額が低下を続けている。さらに、減反が進められ、米中心の農業からの転換が不十分であるため、平成10年の農業粗生産額は705億円とピーク時の70%となっている。また、平成10年の農家人口は165千人であり、昭和45年の1/2以下になっている。

島根県は、2000年から2010年を計画期間とする「新農業・農村活性化プラン」を策定している。

この活性化プランでは、農業粗生産額を2010年に1000億円（米・大豆等378億円、園芸325億円、畜産297億円）に回復させることを目標としている。

農業生産を拡大するための施策の一つとして、認定農業者・農業法人・集落営農組織・共同生産組織など農業のプロを育成していくとともに、その規模を拡大し、県内外の企業の農業参入を促進していくことが示されている。

図-3には農業経営体・組織の推移を示したが、年々、企業的な経営を行う農業経営体は増えていることがわかる。

また、島根県が重点振興作物として選定しているのは、米・大豆・キャベツ・ねぎ・ぶどう・かき・きく・繁殖牛・肥育牛・酪農の10品目となっている。

特に、中山間地域の農業に対しては、特有の自然条件を生かし有機栽培を進めることで米や園芸作物の品質を向上させ付加価値の高い農産物生産を目指すこと、林野を用いた畜

図-1 農業粗生産額の推移

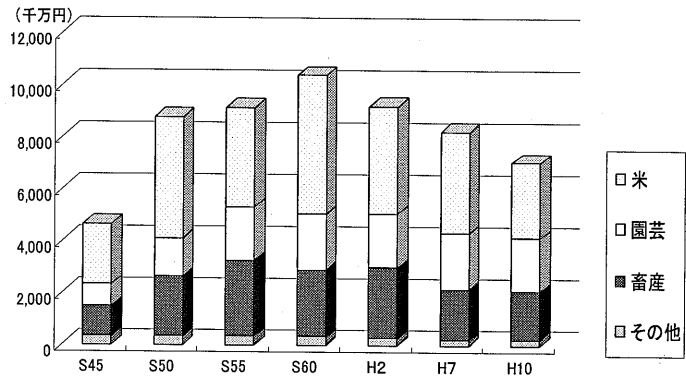


図-2 農家数・就業人口の推移

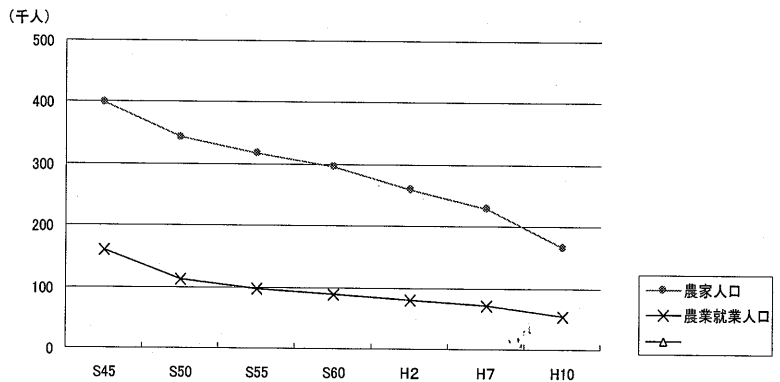
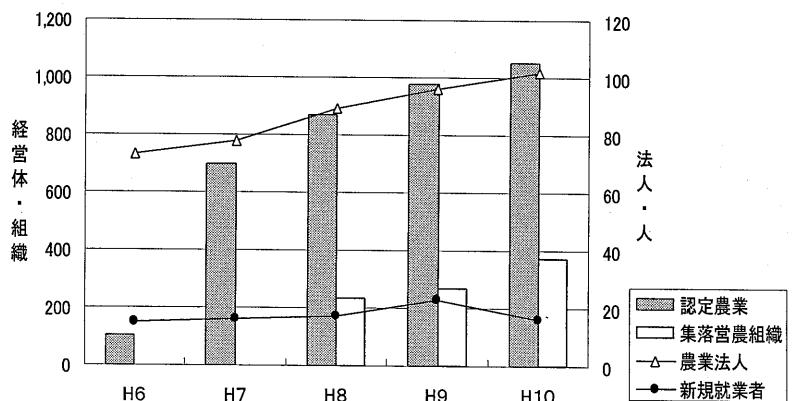


図-3 経営体および農業法人などの推移



産の振興、産直市の積極的な展開、観光型・滞在型農業や教育の場の提供などが振興方策として挙げられている。

#### 4. 雲南地域の農業資源

雲南地域の農業資源として特徴的なものを以下に挙げる。(木次町、三刀屋町、掛合町、仁多町、横田町について調査した結果を示す)

雲南地域は、島根県の中でも典型的な中山間地域であるものの、国道 54 号が縦断し、松江・出雲圏域と近く、広島市場ともアクセス性が比較的良いという条件を持っている。ここで示した町村では、国道 54 号沿線の木次町、三刀屋町、掛合町の地域と仁多郡である仁多町、横田町に分けられる。

仁多町・横田町は、1 農家あたりの耕地面積が大きく(平均 98 a) 農家数も 1000

軒以上ある。この地域の農産物は「仁多米」に代表される様に、良質な農産物のイメージが高く、有機農業も推進しているため現状はこのままの体制で推移すると考えられる。しかし、農業粗生産額は昭和 60 年から 6~10%減少しており、市場流通での米の低価格化などが響いていると思われる。横田町には国営開発農地(292ha)があり、12ha が遊休地として残っている。

木次町、三刀屋町、掛合町は地形的制約から、1 農家あたりの耕地面積が小さい。(平均 55a) 農業粗生産額は昭和 60 年から約 20%減少しており、仁多町・横田町に比べて厳しい状況である。表に示す様に、木次町の「がんこな農業」と三刀屋町・掛合町の葉ネギの水耕栽培に代表される企業的な農業が混在する地域であるといえる。これに三刀屋町の畜産が加わっているという形態である。掛合町には、農道空港予定地として島根県が用地取得した土地があり、まとまった土地としての活用が期待できる。

また、雲南地域では道の駅での野菜市、無人・有人の青空市などが盛んである程度の収益を挙げている。これは、安全でおいしい農産物への消費者の期待と自分が作った農産物売る生産者の喜びがうまくマッチングした結果であると思われる。地域間交流の重要な資源として今後も活かして行く必要がある。

	農業の特徴的な内容
木次町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機農業を中心とした「がんこな農業」を推進</li> <li>・食の杜、ワイナリーなどの運営 (無農薬ぶどうの栽培)</li> <li>・学校給食への地場農産品の活用</li> <li>・木次乳業の安全・安心な製品の製造</li> </ul>
三刀屋町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農事組合法人フレッシュファーム神代の活動 (生産と加工を集約化)</li> <li>・葉ネギの水耕栽培を進める</li> <li>・肉用牛の生産</li> </ul>
掛合町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・葉ネギの水耕栽培と加工</li> <li>・梅ワイン、栗焼酎などの農産加工品の製造</li> <li>・花卉栽培の企業経営事例</li> </ul>
仁多町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仁多米が地域ブランドとして浸透</li> <li>・肉用牛の生産</li> <li>・有機農業の推進 ・菌床椎茸栽培</li> </ul>
横田町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国営農地開発地(横田開パイ)での農業生産</li> <li>・農業公社の設立、農業の後継者育成</li> <li>・有機農業の推進 ・菌床椎茸栽培</li> </ul>

## 5. 雲南地域への企業参入の可能性

農業のシステムを分解すると「生産」「加工」「流通」「消費」に分けられる。この中で、考えられる企業参入の形態と雲南地域への適用性について検討した結果を表-2に示す。

表-2 企業参入の形態と適用性

	企業参入モデル	特 徴	雲南地域での適用
生 産 ・ 流 通 分 野	①植物工場	農産物を自然の中で育てるのではなく、管理された工場内で水耕栽培技術などを用いて生産する工場。 計画的な生産が可能であり、地域雇用や農産加工業への連関などが期待できる。	掛合町・三刀屋町では水耕栽培で「葉ネギ」の生産が行われており、それを進めた形での適用が考えられる。 掛合町の農道空港予定地跡地の活用が考えられる。
	②食品加工	地域で生産される農産物を加工することで付加価値を付け、特産品に成長させることが期待される。 余剰農産物を加工に回す場合と加工したものを特産品化する場合が想定される。	木次町の誘致企業の技術支援、ワイン製造実績。 掛合町の梅ワイン、栗焼酎の製造実績 木次町の学校給食事業の発展的展開（調理済食品） 木次乳業の加工食品展開
	③契約栽培	大手流通機関と提携し、安定的に農産物を生産・提供する契約栽培の形態もある。	中山間地域の土地資源は、国営開発農地しかないのが現状である。横田町が適用地域として挙げられる
	④産直販売	生産と消費を直結する販売形態に産地直送の販売形態がある。今後、インターネット市場の形成や、農産品の運送・配達に企業参入が進む可能性がある。	全ての町村で可能な参入形態である。
交 流 ・ ふ れ あ い 分 野	⑤農業公園	畜産や酪農を中心に、家畜とのふれあいや農産加工品などを売り物として、集客を図り観光交流を促進する施設。	木次町の木次乳業との連携での展開が想定できる。
	⑥クラインガルテン	農地と宿泊施設をセットにして農業を宿泊しながら体験できる施設。 観光業者との連携で、特に高齢者への観光商品としての展開が可能。	こだわりの農業を進める木次町や仁多町・横田町では展開できる可能性がある。

いずれについても、参入する企業と受け入れる町村のニーズとシーズのマッチングが必要である。そのためには、地域の農業関連情報を集約し、対外的に発信すること及び市場情報、企業情報を収集することにより、最適なマッチングを行うことが望まれる。

## 6. おわりに

中山間地域の振興にあたって、地域の基幹的な産業である農林業を持続させ、地域のコミュニティが継続され、農山村が守られることが必要である。そのために、農林業の自立的振興を実現しなければならない。今回は、企業参入を軸として考察して見たが、まだまだ地域の内情、農協の実態など把握できていない面がある。今後、さらに実態分析をすすめる、農業の自立にむけた方策を考えて見たい。

## 中国地方の中山間地問題に関するアンケート

島根県技術士会

## 1, 市町村名

## 2, 記入者の役職

性別

年齢

## 3, 基本事項に関する質問

- ① あなたの町の基幹産業は何ですか。優先順位の高いものから書いてください。(3つ以内)  
 (1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ )
- ② あなたの町での産業振興施策の代表的なものは何ですか。優先順位の高いものから書いてください。(3つ以内)  
 (1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ )
- ③ あなたの町の誇(アピールポイント)れるものは何ですか。優先順位の高いものから書いてください。(2つ以内)  
 (1 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ )
- ④ 市町村が発展するため地方分権が必要である。該当項目1つに○印をしてください。  
 1: そう思う 2: ややそう思う 3: どちらとも言えない 4: あまり思わない 5: そう思わない
- ⑤ 地方発展のため市町村合併が必要である。該当項目1つに○印をしてください。  
 1: そう思う 2: ややそう思う 3: どちらとも言えない 4: あまり思わない 5: そう思わない

## 4, 中山間地の課題(①～⑬の項目について1～5の回答で該当する内容1つに○印をしてください。)

- ① 財政状況の悪化が地域の衰退を招いている。  
 1: そう思う 2: ややそう思う 3: どちらとも言えない 4: あまり思わない 5: そう思わない
- ② 農業の衰退が地域の衰退を招いている。  
 1: そう思う 2: ややそう思う 3: どちらとも言えない 4: あまり思わない 5: そう思わない
- ③ 林業の衰退が地域の衰退を招いている。  
 1: そう思う 2: ややそう思う 3: どちらとも言えない 4: あまり思わない 5: そう思わない
- ④ 商工業の衰退が地域の衰退を招いている。  
 1: そう思う 2: ややそう思う 3: どちらとも言えない 4: あまり思わない 5: そう思わない
- ⑤ 就業場所の確保が出来ないため、地域の衰退を招いている。  
 1: そう思う 2: ややそう思う 3: どちらとも言えない 4: あまり思わない 5: そう思わない
- ⑥ 少子化による学校廃校が地域の衰退を招いている。  
 1: そう思う 2: ややそう思う 3: どちらとも言えない 4: あまり思わない 5: そう思わない
- ⑦ 医療機関の維持が出来ないため、地域の衰退を招いている。  
 1: そう思う 2: ややそう思う 3: どちらとも言えない 4: あまり思わない 5: そう思わない
- ⑧ 公共交通機関の確保が出来ないため、地域の衰退を招いている。  
 1: そう思う 2: ややそう思う 3: どちらとも言えない 4: あまり思わない 5: そう思わない
- ⑨ 地域の衰退により自然景観が出来なくなる。  
 1: そう思う 2: ややそう思う 3: どちらとも言えない 4: あまり思わない 5: そう思わない
- ⑩ 地域の衰退により、文化伝統の継承が出来なくなった。  
 1: そう思う 2: ややそう思う 3: どちらとも言えない 4: あまり思わない 5: そう思わない
- ⑪ 人口減少に伴い集落の維持も出来なくなった。  
 1: そう思う 2: ややそう思う 3: どちらとも言えない 4: あまり思わない 5: そう思わない
- ⑫ 人口減少に伴い自治体の維持も出来なくなると思う。  
 1: そう思う 2: ややそう思う 3: どちらとも言えない 4: あまり思わない 5: そう思わない
- ⑬ 地域の衰退により、介護施設の不足等、高齢化への対応が出来なくなっている。  
 1: そう思う 2: ややそう思う 3: どちらとも言えない 4: あまり思わない 5: そう思わない

## 5, 現状における施策

- ・ 地域活性化施策としてこれまで実施した①～⑬分野についての実施項目に○もしくは事業名の記入を行い、「施策の目的」を記入し「評価」「原因」について以下の通り回答してください。
- ・ 「評価」について、目的とした効果が達成されたか、ア～オの該当する項目に○印をつけてください。
- ・ 「評価」でウ、エ、オ、と答えられた方は、その「原因」についてア～オの該当する項目に○印をつけてください。

## ① 施設整備

## a、温泉入浴施設

目的:

評 価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
 カ. その他 ( )

原 因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
 ケ. その他 ( )

裏へ

b、スキー場

目的:

- 評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )
- 原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

c、ゴルフ場

目的:

- 評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )
- 原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

d、公園（自然公園、キャンプ場等）

目的:

- 評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )
- 原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

e、文化資料館（歴史、自然、文化等を対照とした施設）

目的:

- 評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )
- 原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

f、道の駅（物産販売施設等）

目的:

- 評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )
- 原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

g、水辺の楽校

目的:

- 評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )
- 原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

h、運動施設（テニス場、グラウンド、体育館等）

目的:

- 評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )
- 原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

i、音楽施設（音楽堂等）

目的:

- 評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )
- 原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

j、美術館・博物館

目的:

- 評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )
- 原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

k、その他

目的:

- 評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )  
原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

② 社会資本整備

a、役場から高速道路のインターチェンジまでの所用時間はいくらか

時間 分

b、あなたの市町村において道路整備は今後必要だと感じますか。

1: そう思う 2: ややそう思う 3: どちらとも言えない 4: あまり思わない 5: そう思わない

c、高速自動車道への接続道路

目的:

- 評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )  
原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

d、近隣中核都市へのアクセス道路

目的:

- 評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )  
原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

e、周辺市町村との連携道路

目的:

- 評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )  
原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

f、町村内道路網の整備

目的:

- 評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )  
原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

g、下水道整備 (公共下水、農業集落含む)

目的:

- 評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )  
原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

h、その他

目的:

- 評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )  
原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

③ 情報基盤整備

a、防災無線の整備

目的:

- 評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )  
原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

b、CATVの整備

目的:

- 評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )
- 原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

c、光ファイバーケーブルの整備

目的:

- 評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )
- 原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

d、パソコン導入事業

目的:

- 評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )
- 原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

e、その他

目的:

- 評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )
- 原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

④ 農業振興事業の実施 (貴町村で実施した事業があれば、3事業まで事業名を記入し、以下のアンケートにご回答ください。)

実施事業名 1

目的:

- 評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )
- 原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

実施事業名 2

目的:

- 評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )
- 原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

⑤ 林業振興事業の実施 (貴町村で実施した事業があれば、3事業まで事業名を記入し、以下のアンケートにご回答ください。)

実施事業名 1

目的:

- 評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )
- 原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

実施事業名 2

目的:

- 評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )
- 原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

⑥ 商工業振興事業の実施 (貴町村で実施した事業があれば、3事業まで事業名を記入し、以下のアンケートにご回答ください。)

実施事業名 1

目的:

- 評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )
- 原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )



実施事業名 2

目的:

評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )

原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

⑦ 人口減少対策事業 (貴町村で実施した事業があれば、3事業まで事業名を記入し、以下のアンケートにご回答ください。)

実施事業名 1

目的:

評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )

原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

実施事業名 2

目的:

評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )

原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

⑧ 高齢者福祉事業 (貴町村で実施した事業があれば、2事業まで事業名を記入し、以下のアンケートにご回答ください。)

実施事業名 1

目的:

評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )

原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

実施事業名 2

目的:

評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )

原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

⑨ 医療厚生事業 (貴町村で実施した事業があれば、2事業まで事業名を記入し、以下のアンケートにご回答ください。)

実施事業名 1

目的:

評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )

原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

実施事業名 2

目的:

評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )

原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

⑩ 地域間交流事業 (都市交流) (貴町村で実施した事業があれば、2事業まで事業名を記入し、以下のアンケートにご回答ください。)

実施事業名 1

目的:

評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )

原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

実施事業名 2

目的:

評価 ⇒ ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )

原因 ⇒ ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

⑩ 人材・組織育成事業（貴町村で実施した事業があれば、2事業まで事業名を記入し、以下のアンケートにご回答ください。）

実施事業名1

目的：

評価⇒ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )

原因⇒ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

実施事業名2

目的：

評価⇒ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )

原因⇒ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

⑪ 文化歴史振興事業（貴町村で実施した事業があれば、2事業まで事業名を記入し、以下のアンケートにご回答ください。）

実施事業名1

目的：

評価⇒ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )

原因⇒ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

実施事業名1

目的：

評価⇒ア. 十分効果有り イ. 概ね効果有り ウ. どちらとも言えない エ. あまり効果なし オ. 失敗だった  
カ. その他 ( )

原因⇒ア. 資金不足 イ. 計画の失敗 ウ. 運営力の不足 エ. 人材の不足 オ. 交通事情の問題 カ. 他市町村と競合  
ケ. その他 ( )

6、総合評価

あなたに市町村では、地域づくり、地域の活性化はうまくいっていますか。該当するもの1つに○印をつけてください。

1, 成功している。 2, ほぼ成功している。 3, どちらとも言えない 4, あまり成功していない 5, うまくいっていない

7、今後あなたの市町村は、どのような地域作りを目指しますか？キーワードを3つ記入してください。

8、6で提案された地域づくりを実施するためには、なにがネックと成るとお考えですか。キーワードを3つ記入してください。

9、自由意見